



ご挨拶

本日は“*A-Winds*29” 2009年 春の演奏会にお越し下さり、誠に有難うございます。「こころ豊かな文化の香り高き町：大和郡山市」のお城の麓“やまと郡山城ホール”で皆様方こうしてお逢いすることができましたことに*A-Winds* 団員一同、心より感謝しております。

1999年10月の発足と同時に活動を始めて以来、1999年秋の“デビュー演奏会”を始めとする、四季折々に開催する我々、*A-Winds* 奈良アマチュアウインドオーケストラの定期演奏会も、おかげさまで9年余の間に29回目の演奏会を迎えることができました。これも我々*A-Winds*の活動、そして音楽をこよなく愛して下さった皆様方の御指導、御支援あってのことと感謝しますとともに、団を代表しまして心より厚く御礼申し上げます。

吹奏楽のオリジナル作品を中心に取り上げることを活動方針に掲げ作曲家の方々を、実際に合奏練習にお招きして、作曲家自身の作品の生い立ちや、楽曲の紐解き解説を聞きながら合奏指導を受けたりと、様々な啓蒙に取り組み活動してまいりました。

時が経つのは早いもので、ちょうど今から9年前、アンサンブルという少人数の音楽スタイルを、吹奏楽の大人数の編成でもアンサンブルの延長上にと位置づけて、1300年の歴史を刻む奈良の都に発足しました。

“鶴は千年、亀は万年”と言われるように、派手さは無いけれどもいつまでもコツコツと続けられるように、亀のイラストを団のロゴに取り入れ、いつまでも同じメンバーで、良い音楽活動が続けられるようにと皆で願い、演奏会よりも何よりも、まず先に開催した団の発足パーティーのことを、まるで昨日のようにおぼえています。

今年で丸10年を迎えるにあたり、5月には、日本屈指のコンサートホールでもある、ザ・シンフォニーホールで、大阪を代表する吹奏楽団、三木ウインドフィルハーモニーさんとジョイント演奏会“JOYFUL BRASS 2009”を、そしてこの秋には、一つの節目となる“10周年&30回記念演奏会”をと、10周年を迎えるイベントも目白押しです。

50人余の奏でる音楽が、いつまでも皆様の心の中で、鳴り響き続ける音楽でありますようお願いを込め、団員を代表しまして一句詠ませていただきます。

背伸びして 春を迎えた 親亀子亀

今後とも、温かい御指導、御支援の程、宜しく御願申し上げます。

A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ 団長 魚谷昌克

*

本日は“*A-Winds*29” 2009年 春の演奏会にご来場いただき、ありがとうございます。

今回の演奏会は『21世紀の吹奏楽』ということで、21世紀前後の曲を集めてみました。

実は今回の実行委員長の我々は、まだ*A-Winds*に入団して一年と経っておりません。また生まれた年は平成元年なので、まさに21世紀世代の人間と言えるでしょう。

21世紀というのは、かつては夢広がる近未来の世界が想像され、それに合わせて吹奏楽も時代の変遷を遂げてきました。しかし、21世紀は決して良い事ばかりではありません。今も世界各地で争いが絶えず、また現在世界規模の金融危機が猛威を振るっております。

そこで、少しでも音楽によって21世紀が明るくなって欲しいと願い、今回は楽しい企画を用意してみました。まだ今世紀も始まったばかりです。良くも悪くするのは我々ではないのでしょうか…。

最後に、本公演開催にあたり、各方面からご支援を賜りましたことを、厚く御礼申し上げます。

“*A-Winds*29” 2009年 春の演奏会 実行委員長 上野遼太 尾登勇介



A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ

Piccolo	佐藤 由加里	Trumpet	魚谷 昌克 表 恭子
Flute	佐藤 司 魚谷 陽子 古川 恵理♪ 浅野 美音♪		篠木 章江 山本 洋介 小倉 明花♪ 乙川 佳世
Oboe	深沢 亮子 篠藤 文子☆	Trombone	萱原 淳嘉◇ 小泉 文浩 田中 真二 鈴木 恵子 上野 遼太♪
E♭ Clarinet	長尾 恭子	Euphonium	大西 善郎 尾登 勇介♪ 藤村 晃世♪
B♭ Clarinet	竹村 明恵 大江 奈々 森本 幸恵 後藤 咲妃 上野 彩香♪ 八木 望 ♪ 藤岡 宏樹	Tuba	楠 陽介 堤 正治郎☆
Alto Clarinet	大西 晴巳	St. Bass	佐藤 良一☆
Bass Clarinet	辻田 綾子♪	Percussion	平井 晶 荒井 智子 谷口 麻子 久保 寛美 川本 理恵 豊川 史香◇ 木佐貫雅☆ 武内 亮☆
Bassoon	満江 孝文	Piano	八木 真木
Alto Saxophone	島田 博一 宮本 祐輔♪	☆エキストラ	
Tenor Saxophone	初岡 和樹	◇休団	
Baritone Saxophone	吉村 由夫	♪A-29演奏会実行委員	
Horn	久野 耕三 次田 哲平 小林 計昭♪ 大田 雅美 山藤 恵美		



A-Winds メンバー募集

- 募集パート
 - ・オーボエ(イングリッシュ・ホルン)／1名
 - ・B♭クラリネット／2名
 - ・ファゴット／1名
 - ・チューバ／2名
 - ・コントラ・バス／2名

- A-Winds*の活動趣旨(ウインドアンサンブル&オリジナル重視)に賛同頂ける方
- ご自分で楽器を準備できる方
- 全ての活動に賛同頂ける方
- 18歳以上の方
- 詳細はお問い合わせ下さい。

問い合わせ先は<e-mail>a-winds@amber.plala.or.jp



2009年3月15日(日) 13:30開場／14:00開演
やまと郡山城ホール 大ホール

主催●*A-Winds* 奈良アマチュアウインドオーケストラ
後援●大和郡山市 大和郡山市教育委員会 奈良県吹奏楽連盟



プログラム

◇第1部 指揮者:佐藤 司

吹奏楽の為の序曲

Overture for Wind Orchestra

作曲者:坂田雅弘/Masahiro Sakata

出版:All Japan Band Association

楽器紹介コーナー

Mindscape for Wind Orchestra

作曲者:高昌帥/Chang Su Koh

出版:Brain Music

◇第2部 指揮者:魚谷昌克

マーチメドレー

MARCH MEDLEY

作曲者:杉浦邦弘/Kunihiro Sugiura

出版:未出版

Music in the Air!

A Quiet Intermezzo for Winds

作曲者:アルフレッド・リード/Alfred Reed

出版:Masters Music Publications

ストームワークス

STORM WORKS

1. TIME STORM A Dance of the Wu Li Master

2. Before the STORM...

3. Into the STORM!

作曲者:スティーブン・メリロ/Stephen Melillo

出版:STORM WORKS



曲目解説

■吹奏楽の為の序曲

この作品は1989年に作曲され、2000年に行われた第48回全日本吹奏楽コンクールの課題曲となりました。

坂田雅弘氏はこの曲を作曲してから課題曲になるまで、吹奏楽の世界とは疎遠になっており、この曲はもう一度吹奏楽に触れる契機となった作品と、氏は評価しています。

曲はトランペット・トロンボーンファンファーレのような主題に始まり、ゆったりと美しい中間部、そして再現部という、吹奏楽にはオーソドックスな曲の構成となっております。シンプルながらも、吹奏楽という世界をよく表現した作品の一つです。

■Mindscape for Wind Orchestra

2006年の春に開催した、『A-Winds'2006 春の演奏会』。その際に開催20回記念として、高昌帥氏に作曲を委嘱した作品です。

この作品をきっかけに、同氏は我々の活動にご理解をお示しくださり、公私に渡り A-Winds に非常に縁のある方です。

曲はマリンバの長いソロから始まり、突如主題が打ち鳴らされ、雰囲気急変します。その後はめまぐるしくリズムや旋律が変化し、まさにマインドスケープ(心象風景)が激しく移り変わる様子が窺えます。やがて美しいメロディーが現われ、曲は最大の盛り上がりを見せます。

この曲は、我々 A-Winds にとって特別な意味を持った一曲で、演奏する時はやはり、ほかの曲とは違った感情を持ちます。いわば、A-Winds の『宝』とも言えるでしょう。

■マーチメドレー

著名な行進曲、映画音楽、クラシックの名曲を、マーチ風にアレンジしてメドレーにした曲です。皆さんも、一度はお聞きになられたことのあるフレーズが随所で登場します。

今回は演奏するだけでなく、少し企画を盛り込んでみました。

皆さんも是非手拍子などをして、曲に参加していただいて、吹奏楽を“楽しんで”下さい。そして、こういった吹奏楽もあるんだ、と思ってくれたら幸いです。



ご案内

JOYFUL BRASS 2009

～A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ & 三木ウインドフィルハーモニー ジョイントコンサート～

2009年5月4日(月)みどりの日 午後5時開演 場所:ザ・シンフォニーホール(大阪市北区)
当日券 1,500円 前売券 1,200円

A-Winds 単独ステージ演奏曲目

March Medley / arr. 杉浦邦弘

団員指揮:魚谷昌克

Mindscape for Wind Orchestra / 高昌帥

客演指揮:高昌帥

合同ステージ演奏曲目

エル・サロン・メヒコ / A.コーブランド

交響詩「ローマの松」/ O.レスピーギ

客演指揮:齊田好男

■Music in the Air! A Quiet Intermezzo for Winds

アルフレッド・リードはアメリカ出身の作曲家、指導者であり、20世紀を代表する吹奏楽の父です。2005年にこの世を去るまで200曲以上の吹奏楽作品を手掛け、その名は吹奏楽に携わった方なら、一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。

この曲は毎日放送の放送開始のオープニングテーマ曲、また日曜日の放送終了のエンディング曲として2000年に作曲されました。彼が死去した際、毎日放送では追悼のテロップが流されました。

ゆっくりとした曲調で、美しいメロディーは、まさに空気の中に自然と流れてゆくようなイメージでしょう。

■ストームワークス

スティーブン・メリロは、アメリカ、ニューヨークの出身で、吹奏楽や映画音楽などを中心に手掛ける作曲家であり、また日本をテーマとした作品が多いことでも知られています。彼は、宮本武蔵など、日本文化に関心を持っており、2005年の5月には初めて来日、国内での新作の収録を行っております。

この曲は1990年に作曲され、曲と同じ名の出版社から発売されました。ストーム(嵐)の恐怖、偉大さを描いた三部作です。

1. TIME STORM A Dance of the Wu Li Master

…“Wu Li”とはここでは、「自然のエネルギーの手本」または「空虚」を表します。この曲はタイムストーム、つまり時の流れを嵐として表現しています。

2. Before the STORM...

…この曲は、三部作の中での「台風の目」の役割をしています。まさに、嵐の前の静けさを表した一曲でしょう。

3. Into the STORM!

…いよいよ嵐の中に飛び込みます。人間の力では遥かに及ばない、自然の脅威と美しさを、嵐の中に見出した三部作のラストを飾る一曲です。



プロフィール

■A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ

A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラは1999年10月、古都奈良に誕生したアマチュア吹奏楽団です。

「A-Winds (エー・ウィンズ)」の“A”は「アマチュア(Amateur)」の“A”であり、アマチュアならではの音楽づくりを追求することを標榜しています。演奏者一人一人の音楽づくりを演奏に反映できる、管打楽器アンサンブルの延長上としての最小人数の吹奏楽=ウインドアンサンブルを指向し、また、吹奏楽の特性を最大限に発揮できる吹奏楽オリジナル曲を中心に取り上げていくことを活動方針としています。